



あきる野ボランティア・市民活動センター

ボランティア情報誌

令和4年 **1** 月号

※奇数月 15日発行

社会福祉法人 あきる野市社会福祉協議会 あきる野ボランティア・市民活動センター ☎595-9033



HAPPY NEW YEAR

2022

Tiger



あけましておめでとうございます。

2022年が皆様にとって

笑顔で過ごせる1年となりますように。

本年も、ボランティア情報誌では

ボランティアや地域の行事など

様々な情報を皆様にお届けしていきますので

毎号ご覧いただけますと幸いです。

P.N さと

コロナ禍でどこへ行くにもマスク…
子ども同士顔を寄せ合って遊ぶことも
躊躇される息苦しい世の中ですが、
日々くだらないことで笑わせてくれる
無垢な子ども達に癒され、救われています。
早くマスク無しの生活に戻れます
ように。

ボランティア情報誌 表紙写真募集

笑顔の写真や発行月にあった写真をお送りください。
ご応募お待ちしております。

★①ペンネーム ②メッセージ ③写真 ④氏名

⑤連絡先 ⑥住所 を記載し、メールまたは郵送にて
お送りください。※①～③は情報誌に掲載します。

※締切は、発行月の前月 20 日までです。



※掲載のボランティア活動は、新型コロナウイルス感染状況等により変更や中止となる場合があります。

※本情報誌は、地域の皆様にご協力いただいている社協会員会費等を活用して発行しています。

参加者募集



合同実施

あきる野ボランティア・市民活動センター
ふっさボランティア・市民活動センター
日の出町ボランティアセンター

参加費
無料

わが町を守り、備えるための **災害ボランティア養成講座** “3本立て！！”

第1弾 行政が出来る被災者支援の限界 ～社協に求められる役割～

災害が発生した時に、被災者の生活再建に向けたボランティア活動は大きな助けとなります。2019年に発生した台風19号の被災状況やボランティア活動の報告から、被災者の要求に対する行政、住民、災害ボランティア等、それぞれの在り方や違いを理解し、被災者支援への取り組みを考えます。

▼日時 1月27日(木) 午後6時～8時

▼講師 高木直氏(調布市社会福祉協議会)、橋本朋久氏(あきる野市社会福祉協議会)

▼定員 会場：50人 オンライン：100人



第2弾 身近にある防災食 ～災害に備えて～

「非常食」ではなく、普段食べている身近な食品を「防災食」として備蓄することで、消費しながら備蓄する「ローリングストック」を実践しましょう。

講師は、全国で講演や講座を行うほか、テレビ・ラジオ・新聞等でも活躍中の方です。

▼日時 2月6日(日) 午前10時～正午

▼講師 今泉マユ子氏(防災食アドバイザー)

▼定員 会場：50人 オンライン：100人



第3弾 地域のボランティアの底力 ～被災者に寄り添う方法～

被災地の様子や災害ボランティアの支援内容(流木や土砂の撤去、家財道具の搬出、炊き出し、話し相手など)を確認し、時間経過とともに変化する復旧・復興作業の流れを紹介します。また、住民同士のつながりや協力が重要であること、災害ボランティアセンターの役割などをお伝えします。

▼日時 2月19日(土) 午前10時～12時30分

▼講師 垣貫紀彦氏(ピースボート災害支援センター)

鈴木暢氏(DEF災害エキスパートファーム)

加納佑一氏(東京ボランティア・市民活動センター)

▼定員 会場：50人 オンライン：100人



【全回共通】

▼会場 福生市福祉センター(福生市南田園2-13-1)

▼対象 西多摩地区在住・在勤・在学の方

▼申込み あきる野ボランティア・市民活動センター

TEL: 042-595-9033 E-mail: volunteer-c@akiruno-shakyo.or.jp

①申込みする講座名 ②氏名 ③住所 ④連絡先 ⑤会場参加 or オンライン参加 をお伝えください。

1月7日(金)から受付中



◎オンライン参加をご希望の方へは、後日 URL 等ご案内いたします。

※当日の検温やマスク着用、会場での感染防止対策にご協力をお願いします。

※感染症の状況により講座が中止となる場合がございます。

市内の災害時に、ボランティアと協力して運営する災害ボランティアセンター

あきる野市災害ボランティアセンター運営訓練を実施します。

- ▼日 時 2月26日(日) 午前9時～11時30分
- ▼会 場 秋川ふれあいセンター ふれあい広場
- ▼内 容 災害ボランティアセンター各班運営訓練
- ▼被害想定 立川断層を震源とするM6の地震が発生。市内において震度6強の揺れがあり、各地で建物の倒壊、道路の陥没、ライフラインの破損並びに火災等が発生した。発災から2週間が経過し、生活状況は一部の住民が避難所で暮らし、ライフラインは一部復旧、道路の陥没等の交通規制を想定とする。
- ▼申込み あきる野ボランティア・市民活動センター ☎595-9033



参加者募集



参加者募集



第51回 あきる野市民チャリティゴルフ大会

社協が実施する、高齢者や障がい者への各種福祉サービス事業（移送サービス、有償家事援助サービス等）を支援する目的で、チャリティゴルフ大会を感染防止対策を講じて実施します。ご参加をお待ちしています。

- ▼日 程 4月22日(金)
 - ▼場 所 東京五日市カントリー倶楽部
 - ▼定 員 合計60組240人(申込み順) キャディ付27組108人、セルフ33組132人
 - ▼対 象 チャリティゴルフの趣旨に賛同いただける方
 - ▼参加費 3,000円/人
 - ▼競技費
- | | プレー費(税込み) | キャディ付 | セルフ |
|--------|-----------|---------|--------|
| ゲスト | | 12,190円 | 9,690円 |
| 倶楽部友の会 | | 11,485円 | 8,985円 |
| 倶楽部会員 | | 8,150円 | 5,650円 |
- ※上記プレー費は、昼食付・消費税別及び利用税別となります。
- ▼申込方法 申込書に参加費を添えて、実行委員会事務局へお申し込みください。
 - ▼問合せ あきる野市民チャリティゴルフ大会実行委員会事務局
秋川事務所 ☎595-9033 五日市事務所 ☎595-0818



Smile Project 第3弾! 「Smile Action Project」 地域をつなぐ あきる野のボランティア スタンプラリー を実施しました



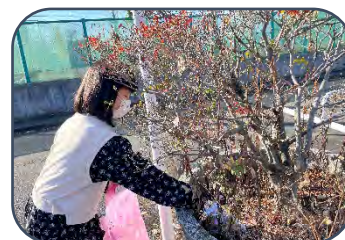
秋留台公園の落ち葉はき



NPO法人ふるさと森づくり
センターでの農業体験



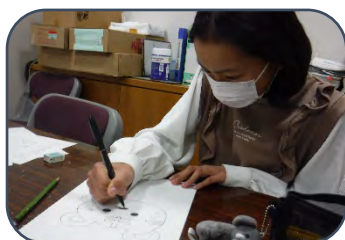
演芸ボランティア団体
アラジンマジッククラブにて
マジックの習得



秋川ふれあいセンターの
クリーンアップ活動



秋川ふれあいセンター
クリスマスツリーを飾りました



イラストボランティア
ぬり絵の原画作成をしました
HPに公開してるので遊んでみてね



東京サマーランド
わんダフルネイチャーヴィレッジ
ハイキングコースの整備



ワークショップ体験
フィンランド伝統工芸品
「ヒンメリ」作り

ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

これからもボランティア活動に興味を持ち、自らいろいろな活動に取り組んでくれたら嬉しいです♪



▼登録ボランティア・市民活動団体

紹介



ボラセン職員が登録団体を紹介します！

はればれ竹クラブ

感染症対策をしながら活動中

【活動日】 定例会毎月7日 年7～8回の竹細工教室等
【活動場所】 五日市乙津 工房「竹燈」
【活動内容】 竹細工の指導、放置竹林の整備、作品展の開催

・職員が取材してきました

五日市は「荷田バス停」の横の坂道を登った見晴らしのいい高台に、はればれ竹クラブの工房「竹燈」がある。今回はNHKの番組の取材を受けるとのことで、取材に伺った。専用の工房は2階建て。1階はギャラリーで、メンバーが作った大小様々な作品が飾られている。洞窟風の素敵な内装も全て手作り。少し暗めの部屋に竹灯り（竹細工のランプシェード）が灯ると室内がキラキラ輝いて美しい！繊細な絵柄は一体どうやって彫ったのだろう？と、じっくりいろんな角度から眺めてしまう。



ギャラリーで作品に見入っているうちにNHKの取材班が到着。今回は「竹と日本人」というテーマの企画で、はればれ竹クラブは間伐材を用いたの作品作りが環境保護活動に繋がっているということで注目された。2階の作業場でメンバーの江守さん指導のもと出演者が竹灯りを制作。初めての作業で慣れない様子もとても楽しそう！※苦労して作った様子は、NHKBS-1で12月21日に放映されました。気さくな竹クラブのメンバーは初めての取材とは思えないほどリラックスした様子で、取材中もどこからともなく竹笛の音がする。この日はあいにくの雨だったが、しとしと雨の音と、竹笛の音色と、楽しげな笑い声が山の景色に溶け込んでいた。



あきる野にぼうけん遊び場をつくる会

感染症対策をしながら活動中

【活動日】 月の最終水曜日
【活動場所】 草花三角河原（草花小裏側の河原）
【活動内容】 月1回のプレーパーク、例会、草刈り、河川整備等

・職員が取材してきました

当団体は「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーに、自然がそのまま残された平井川の土手の一角で活動。子ども達は木、植物、川の水、土といろいろなものを手にして自由に遊んでいる。こっちで竹を使った道具を作っているかと思えば、あっちではブランコ、その向こうでは川の水を泥と合わせて何か作っていて、何か目的のものを完成させたのか！？ととっても嬉しそうな笑顔を見せる子ども達。大人は忘れてしまった「五感を使う」感覚を楽しんでいるようだ。「今の子ども達は小さいころから『これはダメ』『これはダメ』と言われて育っている。本来遊びはもっと自由で、やりたいことをやって失敗したり成功したりして学んでいくもの」とメンバーは話される。「ここでは大人がダメということはない。『何をやってもいい、好きなことをしていいよ』と。そういう体験が子どもには必要で、それが大人になった時に自分自身を肯定することに繋がると思う。」子どもが自由に遊んでいる間は大人が見守りつつお話をしたり、お茶をしたり、親にとっても息抜きの場になっている様子。と見ていたら、坂道で男の子が転び、すぐにスクッと立ち上がる。「自分でやりたいことをやっているから、少しくらい我慢するんだよね。勉強も大事だけど、遊びで学ぶことはたくさんある。」プレーパークは遊びながら学ぶ場であると感じた。



子どもの笑顔と
家庭の幸せを広げる

あきる野市子育て応援ネットワーク が立ち上がりました。

子育て支援に取り組むボランティア団体や社会福祉法人等が参加し、子どもや子育て世帯を取り巻く環境の変化や多様な課題が発生するなかで、子どもの笑顔と家庭の幸せを広げるために、様々な団体と連携して課題解決に取り組みます。

【あきる野市子育て応援ネットワーク 参加団体】

あきる野絆の会、あきる野にぼうけん遊び場をつくる会、子ども・子育ての会、草花子育て応援サロン、のんきサロンぶひびひ、エノコログサ、新日本婦人の会あきる野支部、(特)子どもと文化NPO 子ども劇場西多摩、吉田真人、(福)網代ホームきずな、自然遊びの会地球っ子、チャレンジ学習塾 他

＊＊ ボランティア情報誌に掲載する記事を募集しています。 ＊＊

市内のボランティア募集やイベント等の情報（募集や周知等）がございましたら、下記までご連絡ください。記事の締切は偶数月20日までです。

社会福祉法人 あきる野市社会福祉協議会 あきる野ボランティア・市民活動センター

〒197-0812

あきる野市平沢 175-4 秋川ふれあいセンター内

TEL 042-595-9033 FAX 042-559-3561

HP <http://www.akiruno-shakyo.or.jp/>

E-mail volunteer-c@akiruno-shakyo.or.jp

